

開催日時	平成30年 5月 4日 (金曜日) 午後1時30分～3時10分	
開催場所	神戸町社会福祉協議会 会議室	報告者：若山昌之
参加者	5名 (内訳：本人1名、介護(経験)者3名、家族の会世話人1名)	

開催日が地元の神戸まつりと重なり少人数の参加であった。自今、基本は第1金曜日とするが、前以って参加者の複数が都合悪いことが分かっておれば、第1金曜日に固辞せず柔軟な対応で期日を決める。

- 現在要介護-3と1の家族を抱えるAさんとBさんから将来症状が進行した場合の対応につき話される。
- Aさん 現在は小規模多機能型居宅介護をその都度所要に応じ利用しており、将来的にも現状サービスのみを考えている。日常生活は出来るだけ彼方此方へ連れ歩くことがリハビリ効果にも役立つしており、特養等の入所は考えたことがない。自身の体験・見聞からして、入所は返って進行を早めるのではと思っており、あくまでも在宅介護に徹したい。
- Bさん 今では徘徊、排泄、暴言等はなく、日常生活は何事も上手くフォローしてやれば何とかこなせる状態にある。介護サービスは通所と短期入所を利用しているが、それ以外は考えていない。介護に明日は見えません。いつかは介護にピリオドが必ずやって来ます。看取り終えた後に後悔するのが怖く、介護に尽くしてよかったと満足感を得たい。故に、できれば自分の手で最後まで見届けたい気持ちである。

次回開催予定 6月8日 (金曜日) 午後1時30分～ (6月は第2週に変更)

場所：神戸町中央公民館 学習室